

第44回北海道思春期研究会

日 時：令和8年8月22日（土）13:00～16:10

会 場：ウイステリアホール

（札幌市中央区南1条西14丁目291-81ウイステリア南1条ビルB1階）

学術集会長：西川 鑑（北海道産婦人科医会 会長 北海道思春期研究会 副会長）
医療法人にしかわウイメンズヘルスクリニック 院長

参加費：一般2,000円、学生無料

テーマ：「思春期世代に寄り添う支援を考える」

— 心・からだ・社会をつなぐ視点 —

学術集会長より：このたび、第44回北海道思春期研究会を札幌にて開催させていただくこととなりました。思春期は、身体的変化のみならず、こころや社会との関わりが大きく揺れ動く重要な時期です。現代では、月経や性の問題、メンタルヘルス、SNSとの関わりなど、支援すべき課題も多様化しています。本研究会では、「思春期世代に寄り添う支援を考える—心・からだ・社会をつなぐ視点—」をテーマに、多職種で学び合い、日常診療や教育・支援の現場に活かせる議論を深めたいと考えております。多くのご参加を心よりお待ちしております。

プログラム

開会の辞 (13:00～13:05)

指定演題1 (13:05～13:50)

(こころ)

「思春期の“こころの揺れ”にどう気づき、どう関わるか」

— 不登校・抑うつ・自傷の背景を理解する —

演者：柳生 一自 先生 北海道医療大学 心理科学部

座長：小林 範子 先生 北海道大学病院 婦人科

指定演題2 (13:50～14:35)

(からだ)

「思春期のからだと悩みに寄り添う」

— 月経・性・身体イメージへの医療的アプローチ —

演者：寺本 瑞絵 先生 NTT東日本札幌病院 産婦人科部長 北海道医師会常任理事

座長：和田真一郎 先生 北海道産婦人科医会 副会長 医療法人 深仁会 手稲深仁会病院 特任院長補佐

指定演題3 (14:35～15:20)

(社会)

「ヤングケアラーから見える思春期支援」

— 孤立を防ぐための社会的アプローチ —

演者：加藤高一郎 先生 北海道ヤングケアラー相談サポートセンター センター長

座長：寺澤 勝彦 先生 北海道産婦人科医会 副会長 産婦人科 テラクリニック 院長

指定演題4 (15:20～16:05)

(つなぐ)

「思春期世代を“孤立させない”支援の実際」

— 助産師が担う、医療・教育・行政の『切れ目ない架け橋』 —

演者：吉 裕子 先生 北海道助産師会 会長

座長：佐藤 智子 先生 北海道産婦人科医会 副会長 医療法人 社団ともこレディースクリニック 院長

閉会の辞 (16:05～16:10)

日本産科婦人科学会 会員の方へ

参加単位認定を行いますのでJSOGアプリまたはJSOGカードをご持参ください。

主催：北海道思春期研究会

共催：北海道産科婦人科学会・一般社団法人WIND